

第4講 ギリシア史の地理的背景

北緯 42° (ビュザンティオン・ペッラ／津軽海峡) 35° (クレタ／京都)

総面積：13万2000 km² (日本：37万8000 km²)

人口：1030万人 (日本：1億2466万人)

人口密度：78人／km² (日本：378人／km²)

耕地面積：1万9000 km² (14.4%)・不毛地：20%

山脈：ピンドス山脈 (ディルナ・アルプス山脈の延長)

＝ギリシア半島の骨格／2500m以上の山々

テッサリアの北東－東南に延びるしゅう曲山脈

(最高峰 2900mのオリュンポス山)／エウボイア－キクラデス諸島

ペロポネソス (アルカディア→パルノン山地

→タユゲトス山脈

→アイガレオス山脈)

山が多く、狭小な平野

石灰岩と片岩：極度に乾燥し樹が無い→旅行者に強い印象を与える

(梅原猛)

降水量：大西洋／地中海西部からの低気圧が山脈に当たり雨を降らせる

イオニア海－アドリア海沿いに降水量が多く (1000 mm以上)

山影に相当するギリシア半島東部－エーゲ海に少ない

(400 mm以下)

エペイロス：1000 mm以上／ラコニア・メッセニア：600 mm以上

／ボイオティア：600 mm／アッティカ：402 mm

日本に比べると乾燥：京都：1579 mm (年間)／160 mm (8月)

10月～1月にかけての降雨：240 mm (一年間の約60%)

6月～9月にかけての降雨：42 mm (年間降水量の約10%)

7月：6 mm／8月：7 mm (夏期の極度の乾燥)

11月：56 mm／12月：71 mm (初冬の湿り)

デーメーテルとペルセポネーとハーデース (ケルベロス) の話し

気温：冬が温暖で南部では霜が降りず→オリーブの栽培に最適

アテナイ：17.8℃

10月～1月にかけての平均気温：13.5℃

6月～9月にかけての平均気温：25.8℃（京都：26.9℃）

土地利用

森林：14.8%（日本68%） 耕地及び果樹園：26.2%

牧草地：39% 不毛地（市街地を含む）：20%

農業：地中海農業の三本柱（オリーブ、葡萄、麦）

オリーブ：石ころの多い不毛地でも自生

数回間隔、栽培は南部に限定（冬期の霜で根が腐る）

50万トン、塩漬けにして食用／オリーブ油

葡萄：低い棚、干し葡萄にして食用、葡萄酒（主なカロリー源）

麦：主に大麦（前328年のアッティカの碑文：90%が大麦）

乾燥に強く（269mm以上）、肥料を必要とせず、収穫時期が早く（5月上旬）、単位面積当たりの収穫量が小麦の約3倍（1.2t／ha：0.4t／ha）

農事暦（ヘーシオドスの『仕事と日々』による）

プレアデス（すばる）が地平線に現われるころ（日の入り：615）

＝10月中旬・・・・・・播種

プレアデスが地平線に沈むころ（日の入り：387）

＝5月上旬・・・・・・穀物の収穫

オリオンが初めて現われるまでに（日の出：598）

＝6月中旬・・・・・・脱穀

アルクトゥルスが地平線に沈むころ（日の出：610）

＝8月下旬・・・・・・葡萄の収穫

シリウスとオリオンが南に傾くころ（日の出：615）

＝9月上旬・・・・・・葡萄酒の仕込み

オリオンが地平線に沈むころ（日の出）

＝11月上旬・・・・・・オリーブの実の摘み取り

地域差は大きい

ピンドス山脈の西側傾斜面：750～1000mm／年 川には年間を通じて水

が流れている

日照時間：3000 時間／年　ボレアスは吹かず

ピンドス山脈の東側－エーゲ海北部：500～750 mm／年

夏期は極度に乾燥、冬期は寒く降霜

エーゲ海北岸（マケドニア・トラキア）：500～600 mm／年

夏に相当の降雨があり、気候パターンは地中海式というよりは中部ヨーロッパ型

（テッサロニキ：6月：33 mm、7月：20 mm、8月：14 mm）

地中海の気候の特徴

北の偏西風帯と南の亜熱帯高圧帯の間

夏：亜熱帯高圧帯が地中海に北上→高温かつ乾燥した気候をもたらす→エテシア（北東の風）が吹く：7月末より9月中旬にかけて
サハラ－西アジアに低圧帯→エウロス（南東の風、シロッコ）：
サハラやエジプトの暑熱をもたらす

秋：ノトス：秋の降雨をもたらす

冬：北のヨーロッパの高圧帯と南のサハラの亜熱帯高圧帯に挟まれ、
中緯度の偏西風帯にすっぽりと入り、地中海に停滞する極前線
上にサイクロンが発生し、東に進みつつ嵐と降雨をもたらす
→ボレアス：大西洋からの西風が東の冷たい高気圧に当たって
南下し、降霜をもたらす、海の波を泡だたせ（波高 3m）、森を唸
らせる

春：ゼフュロス：西風

古代の航海の季節を決定

ベスト＝シーズン：夏至の後の約 50 日間＝6月下旬～8月中旬
＝北北西からエテシアの吹く間

4月中旬のプレアデスが隠れ、無花果の葉の芽が吹くころ
春の航海が始まる

11月初旬のオリオンが地平線に沈み、にわか雨が降るころ
船を陸に引き上げ、船底の栓を抜く

エーゲ海の水の色が群青色（コバルトブルー）に染まるのは

植物プランクトン濃度が低い 150～250 mg/m³/d

↓ (cf. バルト海：500 mg以上、北海：250～500 mg)

透明度が高い：40～50m (所によって 60m)

海水温高い：27°C (夏) 13～17°C (冬)

塩分濃度高い：鹹度 39% cf. 大西洋 33%

↓

暖海性の魚の回遊

鮪、鰹、鰯、蛸、鳥賊、鯖、鯛、アンチョビーなど

牧畜

山羊・羊・・・・・・乳・チーズ・毛・肉／370万頭・580万頭

豚・猪・・・・・・ギリシア北西部 40万頭

牛・・・・・・犁耕 0.58 HP=7.3人／70万頭

cf. 馬 0.86 HP ラバ 0.43 HP

ロバ 0.21 HP 人 0.08 HP